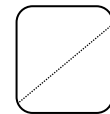


単語 呼応の副詞 文を作る ①



次の呼応の副詞つぎ こおう ぶくしを使って、文を作りましょう。

(例) 「けっして〜ない」

どんなことがあっても、わたしは**けっしてあきらめない**。

① 「まるで〜ようだ」

② 「ぜひ〜たい」

③ 「めったに〜ない」

④ 「きっと〜ちがいない」

⑤ 「よもや〜まい」

解答例

- ① お父さんは料理が**まるで**できない。
- ② 新商品のおかしを**ぜひ**たべてみたい。
- ③ この町で**めったに**雪がふることはない。
- ④ 次のサッカーの試合は、**きっと**勝つに**ちがいない**。
- ⑤ **よもや**あの人がうそをつくことは**あるまい**。